

いのはな便り

肺がんCT検診認定機構メールマガジン
創刊号（2014年5月）

ご挨拶

東京都予防医学協会健康支援センター呼吸器科
肺がんCT検診認定機構 代表理事
金子昌弘

皆様、私はこのたびの理事会におきまして、代表理事に選任されたのでこの場をお借りして、一言ご挨拶申し上げます。

長尾啓一前代表理事には本機構の立ち上げから、認定医師・技師制度の確立と普及に関しまして多大なご尽力をいただきました。私も監事として微力ながらお手伝いしてまいりましたが、今後は長尾先生の路線を踏襲しつつ、さらなる発展を目指したいと考えておりますのでご協力よろしくお願いいたします。

本機構発展のための目標としまして、私は当面、次の二点に重点を置いて取り組むつもりです。

第一は「認定施設」の制度の確立です。

そもそも認定機構を立ち上げた理由は、全国的な肺がんCT検診レベルの向上であり、そのためには関連する医師、技師と施設が一定の水準以上にあることが必要です。

医師・技師の認定制度は確立してきましたので、今後は施設の認定基準を作り、基準を満たしている施設を認定し、定期的な精度管理を行うことで、全国のCT検診のレベルの向上とその維持に努めたいと思います。

本機構の目的は、高水準のCT検診の普及により肺がん死亡を減少させることにありますが、そのためには受診者にわかりやすいシステムにする必要があります、それには施設認定が不可欠と考えます。

今後、施設認定申請のための書類作成などでご協力いただくと考えますがよろしくお願いいたします。

第二には、認定医師・技師間の情報の共有です。

レベルの維持には関連分野の最新の研究成果などの情報共有が不可欠です。機関誌の発行が理想ではありますが、迅速な対応を目指してまずは、メールマガジン「いのはな便り」を発行することにしました。気軽に読め

るメルマガを目指して、学術誌などで公表するほどでもない、ちょっとした「撮影や読影のコツ」なども紹介しあえたらとも考えています。

「いのはな便り」という名称は、機構の事務をお願いしているエッセンのある千葉市中央区猪鼻（いのはな）からの発信という意味ですが、鼻は呼吸器官の始まりでもあり最後でもあり、さらに本機構のマークがイノシシの鼻先のようにも見える点にもちなんで、親しみをこめてつけてみました。お気軽にご利用いただけると幸いです。

最後になりましたが、皆様方がますますご健勝で、今後のCT検診の発展にご努力できますことを、心から祈念いたしております。

講習会などのお知らせ

第12回肺がんCT検診認定技師講習会・認定試験

第4回肺がんCT検診認定技師更新講習会

申し込みはすでに終了しています。

第7回 認定医師更新講習会 兼 認定医師新規認定講習会

平成26年8月31日（日）

6月16日より受け付け開始。

詳細は機構のHP <http://www.ct-kensin-nintei.jp/index.html> をご覧ください。

平成26年度 認定医師用読影トレーニング

開催時期 平成26年10～12月 ホームページ上にて

詳細は9月中にハガキにてお知らせ致します。ご住所・ご勤務先の変更のある方は事務局までお知らせくださいますよう、お願い致します。

日本CT検診学会主催2014年夏季セミナー

第18回読影セミナー、第13回肺気腫セミナー、第8回技術セミナー

日時 2014年7月26日（土）

場所 主婦会館プラザエフ

認定医師・技師の更新の単位として医師5単位、技師7単位が認められます。

詳細は日本CT検診学会のHP <http://www.jscts.org/> でご確認ください。

第40回肺癌診断会および画像診断セミナー

日時 2014年7月3日～7月5日

場所 ホテルニューアカオ（静岡県 熱海市）

詳細は下記HPで確認してください。
<http://square.umin.ac.jp/lcshindan40/>

ご注意

本メールマガジンは、同報メールですので、このメールへの返信はできません。ご意見や掲載希望のカンファレンスの案内、CT検診に関するご質問などは下記の事務局にお送りください。内容によっては理事にお諮りしてからの掲載になる場合もありますのでご了承ください。

いのはな便り 創刊1号 2014年5月29日発行
〒260-0856 千葉市中央区亥鼻3-6-6 イノハナビル3階
有限会社エッセン内 「肺がんCT検診認定機構事務局」
編集責任者 金子昌弘
TEL：043-226-1298
FAX：043-226-1299
E-mail:jimdai@ct-kensin-nintei.jp
